

知のすがた①8.27火 ②9.30月

令和元年

13:10-16:30 / 受付開始12:45

いま科学者の在り方が
問われている

参加無料

場所 TRI(神戸臨床研究情報センター第1研修室)
(078-306-3655)

定員 200名 参加無料

ホームページ:

<https://www.smrj.go.jp/incubation/hi-dec/event/2019/akn4gh0000002ie6.html>

申込み方法 ホームページ上の申込みフォームへの入力あるいは
本紙参加申込書をFAX・郵送(問合せ先に記載)

監修者

坂田恒昭氏 SAKATA Tsuneaki
塩野義製薬株式会社 シニアフェロー

演者の紹介

西川伸一氏 NISHIKAWA Shin-ichi
京都大学名誉教授/NPO法人ASSJ代表理事

野家啓一氏 NOE Keiichi
東北大学名誉教授(元理事・副学長)
専門:哲学・科学基礎論

中村桂子氏 NAKAMURA Keiko
JT生命誌研究館長 専門:生命誌

村上陽一郎氏 MURAKAMI Yoichiro
東京大学名誉教授・ICU大学名誉教授
専門:科学史・科学哲学・科学技術論

① 8.27 (火) ② 9.30 (月)

13:10-13:15 中小企業基盤整備機構 挨拶 13:10-13:15 中小企業基盤整備機構 挨拶

13:15-14:15 西川伸一氏 13:15-14:15 中村桂子氏
「21世紀という未来を見失う前に」 「小さい生きものを見つめながら
よい生き方を考える」

14:20-15:20 野家啓一氏 14:20-15:20 村上陽一郎氏
「科学知と人文知のあいだ」 「科学・技術と社会」

15:30-16:30 パネルディスカッション 15:30-16:30 パネルディスカッション

モデレーター 坂田恒昭氏 モデレーター 坂田恒昭氏
パネラー 西川伸一氏 野家啓一氏 パネラー 中村桂子氏 村上陽一郎氏

問合せ先
神戸健康産業開発センター(H-DEC)
〒650-0047
神戸市中央区港島南町6-7-4 IM室
TEL 078-304-6227
FAX 078-304-6890
kobe-hidecinfo@smrj.go.jp
担当 英・谷尾

主催: 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 協力: 神戸市・神戸医療産業都市推進機構

参加申込書			
参加希望日		☐ 8月27日(火曜) ☐ 9月30日(月曜)	
氏名(フリガナ)	所属組織/部署名/役職		
住所			
電話番号	メールアドレス	@	
自由記入欄			

※本セミナー参加のためご提供いただく個人情報は、参加者の確認、出欠確認、運営に際する連絡および機構各事業の目的のために使用し、法令に基づき開示請求があった場合、申し込み本人の同意の場合、その他相当な理由がある場合を除き、特定できないようご配慮しますが、予めご了承ください。

申込みフォーム: <https://krs.bz/smrj-hp/m/294-f6>





坂田恒昭氏 SAKATA Tsuneaki 大阪出身 塩野義製薬株式会社・シニアフェロー

<略歴> 大阪大学大学院・理学研究科・生理学専攻修了(1979)塩野義製薬株式会社研究所入社(同年米国カリフォルニアアンゼルス校(UCLA)・外科学・泌尿器学教室・客員研究員 歴任

<受賞> 平成36年 大阪府薬事関係功労者知事表彰(薬学研究)

<役職> (独)日本科学技術振興機構(JST)・JST-CREST研究開発戦略センター ライフサイエンス・臨床医学ユニット 特任フェロー、国立研究開発法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門顧問、大阪大学共創機構 産学共創本部 特任教授、サイバーメディアセンター 招聘教授、徳島大学 研究支援 産学官連携推進部客員教授、大阪商工会議所 ライフサイエンス振興委員会 副委員長、他多数

① 8.27 (火)

第1回 演者のプロフィール



西川伸一氏 NISHIKAWA Shin-ichi 滋賀県出身

NPO法人 オール・アサウト・サイエンス・ジャッパニ(AASJ)

代表理事、京都大学名誉教授

題目「21世紀という未来を見失う前

<略歴>

京都大学医学部より、レクサンダー・

フォン・フンボルト財団奨学生としてドイツ・ケルン大学遺伝学研究所へ留学(1980) 熊本大学、京都大学医学研究科分子医学系遺伝医学講座教授(1993) 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長、先端医療振興財団副理事長、他歴任。元JT生命誌研究館顧問。

<著書>「現代に本は無意味である」との信念から、役職を退いた後は著作活動一切絶つ。尚、氏の文筆活動は、下記URLよりご覧いただけます。

★ASSJホームページ; <http://www.aasj.jp/>

★JT生命誌研究館 顧問 在任期間5年分の文章

<http://www.brh.co.jp/communication/shinka/>



野家啓一氏 NOE Keiichi 宮城県出身

東北大学名誉教授、河合文化教育研究所主任研究員

題目「科学知と人文知のあいだ」

<略歴>

東北大学理学部物理学科より東京大学大学院理学系研究科科学史・科学基礎論へ専門分野の転換。米国プリンストン大学へ留学(1979) 哲学者 大森荘蔵 に師事。東北大学総長特命教授(-2019)、第17代日本哲学会会長、日本学会協議会会員・哲学委員会委員長など歴任

<著書>

『科学の解釈学』(講談社学術文庫(改訂)2013)『パラダイムとは何か-クーンの科学史革命』(同上,2008)『科学哲学への招待』(ちくま学芸文庫,2015)訳書:エルンスト・マッハ『時間と空間』(法政大学出版局,1977)他多数

<受賞> 第20回山崎賞受賞(1994) 第4回西川徹郎記念文学館賞受賞(2019) ★座右の銘「festina lente(悠々と急げ)」★影響を受けた本 ジョージ・ガモフ『1, 2, 3...無限大』

② 9.30 (月)

第2回 演者のプロフィール



中村桂子氏 NAKAMURA Keiko 東京出身

JT生命誌研究館長 専門:生命誌

題目:「小さな生きものを見つめながらよい生き方を考える」

<略歴>

国立予防衛生研究所研究員(1964)三菱化成生命科学研究所社会生命科学研究室長(1971)早稲田大学人間科学部教授(1989)大阪大学連携大学院教授(1996)などを経て、JT生命誌研究館館長として現在に至る。

<著書>『科学者が人間であること』(岩波新書2013)『小さな生きものたちの国で』(青土社,2017)『いのち愛づる生命誌(バイオヒストリー)38億年から学ぶ新しい知の探求』(藤原書店,2017)『「ふつうのおんなの子」のちから』(集英社クリエイティブ2018)

<受賞> 第47回毎日出版文化賞『自己創出する生命』(哲学書房1993) 第15回ダイヤモンドレディ賞(2000) 第45回大阪文化賞(2007)アカデミア賞(全国日本学士会2013)



村上陽一郎氏 MURAKAMI Yoichiro 東京出身

東京大学名誉教授・国際基督教大学名誉教授 専門:科学史・科学哲学・科学技術

題目:「科学・技術と社会」

<略歴>

東京大学大学院にて、科学史・科学哲学・科学社会学を学ぶ。上智大学理工学部助教授を経て、東京大教養学部教授(1986) 同大学先端科学技術研究センター長(1993)、ICU大学院教授(2002) ウィーン工科大学、北京人民大学などで客員教授を歴任

<著書>『科学史の逆遠近法-ルネサンスの再評価』(中央公論社1982)『安全学』(青土社1988)『生命を語る視座-先端医療が問いかけること』(NH出版2002)『人間にとって科学とは何か』(新潮選書2010)他多数

<受賞> 第1回哲学奨励山崎賞(1973) 毎日出版文化賞受賞(1985)『ヒューマンサイエンス』全5巻

★ 幼少より能楽を三宅統一に、チェロを青木十良に学ぶ。儀礼でなく「先生」と呼ぶのは、大学時代の恩師大森荘蔵と青木十良のみ、という。

2回連続

What a Scientist should be.

令和元年 ①8.27火 ②9.30月

日時 13:10~16:30 / 受付 12:45

会場 TRI 神戸臨床研究情報センター
神戸市中央区港島南町 1-5-4
078-306-1015

駅名 神戸新交通ポートライナー「医療センター」駅←神戸空港行き
(市民病院前) 駅←神戸空港行き

*ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。

知のすがた

いま科学者の在り方が問われている

